

T T C提案山行実施記録表 (2023年10月31日 報告者: K.O)

1. 山行名	蓬平・三ノ塔			
2. 実施日	2023年10月28日(土) 日帰		公共交通機関利用	
3. 天候/参加人数	天候: 晴れ/にわか雨 レベル★★☆		参加者; 8名 (男3名/女5名)	
4. パーティスタッフ	省略			
5. 参加メンバー	省略			
6. 費用 790円	小田急線(本厚木～秦野駅)、バス(秦野駅～ヤビツ峠) 丹沢・大山フリーパス使用			
7. 所要時間		歩行時間	休憩時間	行動時間
	ガイド	—	—	—
	計画	5:25	1:20	6:45
	実行	4:45	1:20	6:05
				歩行時間比(実行/計画) 0.769
				行動時間比(実行/計画) 0.901

実行コースタイム記録

本厚木駅 6:51=7:08 秦野駅 7:20=8:08 ヤビツ峠 8:20=9:00 青山荘 9:20 ポスコキャンプ場 9:25=10:40 蓬平 10:50=11:40 地蔵 11:45=11:50 三ノ塔 (昼食) 12:30=12:45 ニノ塔 12:55 大音沢ノ頭 13:00 日本武尊足跡 13:05=13:40 菩提峠 13:55 富士見橋 14:00=14:25 ヤビツ峠 14:34=15:20 秦野駅 15:30=15:50 本厚木駅 (その他立ち休憩あり)

コースの概要、特記事項、反省事項等

秦野駅のバス停は予想していた通り長蛇の列になっています。増発便に乗りました。

ヤビツ峠で M.H さんを中心にストレッチを行い、ミーティングをしました。健脚者揃いなので歩行は問題がなく、熊、スズメバチに注意。雷注意報が出ているので、いざという時の雷座りを確認。コース上四阿はないけれども、入らない事 etc。

駐車場裏から出発です。陳賀沢に入ると、人気はなくなり別世界が広がります。ヒルが全くいません。晴れが続く気温が下がって来たからでしょう。快適に歩けます。丸々と太ったタヌキに出会いました。歩き方がヨタヨタ可愛いです。

青山荘のグレースマーヤ(荘の娘さん)のコンサートポスターを見て、県道70号線を藤熊川に沿って下ります。紅葉がやっと始まりかけた感じです。ポスコキャンプ場の中を静かに通り抜け、蓬平登山口からバリエーションルートに入ります。登山口の道標を見逃さないことです。

途中、分かりづらい分岐で地図読み訓練を実施しました。

蓬平の倒木によって壊れてしまったベンチで休憩です。樹林帯が美しいですね！不思議なことに蓬平ではヨモギが一本も確認できずテンニンソウの群落になっていました。ほとんど踏み跡が無い尾根を気持ちよく進みます。紅葉が見られます。

モノレールが出てきて、急登が終わると、進入禁止ロープを越えて地蔵にひょっこり出ます。ここから見る塔ノ岳までの稜線と富士山がとても美しいのですが、今日は怪しい雲で見えません。(天気予報では昼頃が一番悪い)

三の塔で昼食です。西の空は雲っていて眺望は今一つです。

ニノ塔から日本武尊足跡に向かいます。足跡が片足だけ残っているのですが、昔、湧き水が流れた岩なのでしょいか。1498年の地震で片足が埋まり、湧水が止まったそうです。第12代景行天皇の皇子日本武尊は神話の世界ですので、参考程度に。ここからの下りも急斜面でザレていて歩きづらい。

そして、菩提峠に着きます。奥の広場で植樹祭が行われていました。歩き足りない人から、岳ノ台行かないんですかとつまらなそうな表情。計画時に回ろうかどうしようかと思ったのですが、最後に150m登るのは地味にきついで計画から外しました。健脚者には物足りないようでした。

(出会った山野草 etc)

トリカブト、チカラシバ、アズマヤマアザミ、シロヨメナ、ノコンギク、ミツマタ、マメヅタ、テンナンショウ、キッコウハグウマ、テンニンソウ、ナギナタコウジュ、黄色いキノコ、フジアザミ、リンドウ、センブリ

(反省点)

食品提供の自粛について

今まで、山では当たり前のように素手で食べることが習慣化されてきましたが、温暖化で感染症が厳しくなっていく中、山歩きの形態も進化していくべきものでしょう。(京急の運転手のクラスターは朝の洗面の蛇口からの感染。看護師のクラスターは、PCのキーボードからの感染と病棟間のドアノブからの感染と言われています。)簡単に出来る対策はしていきましょう。

<以上>